京都帝國大學新聞
昭和四年五月十三日 (月曜日) 第百二號 (一)
(大正十四年四月十五日第三種郵便物認可)

每週一回月曜發行
定價 一部五錢(郵稅五厘) 一年一圓(郵稅とも)
廣告料 五號活字一行金六十錢 記事中は右金額の二倍 掲載頁の指定は二割增
發行所 京都帝國大學 學友會新聞部 電話京都上一九八〇番 振替大阪七三二八九
發行編輯兼印刷 入山雄一

支那純粹 北平御料理
豚の丸燒は前日お申込下さい
京都市寺町四條一町みなみ 電話下六九五二番
桃園亭

宣誓式に際して學生諸子に望む

總長 新城新藏

本日茲に入學宣誓式を行ふに當り入學諸子に一言致します。諸子は種々の教育階段を經て此最高學府に入らんとするに當りては必ずや大いに覺悟する所がなければならないと思ひます、或は疑ふは知るの半ばなりとも云ひ或は seek and thou shalt find とも云ひます諸子は大學に入りて何を學ばんとするか、抑々大學とは何を學ぶ所でありませうか。大學令第一條に曰く「大學は國家に須要なる學術の理論及び應用を教授し併せて其蘊奧を攻究するを以て目的とし兼ねて人格の陶冶及び國家思想の涵養に留意すべきものとす」とあります。要するに大學は大人君子の學問をする所で人生の福利增進、人類の向上發展の道を講ずる所であり、常に文化の先頭に先ちて國家社會を指導すべき人々を養成する所であります。文化の先頭に立ち國家社會を指導するためには、深く學術の蘊奧を極め、人格の完成に努めなければならぬことは申すまでもないことであります。學術の研究のためには、第一には博く學び深く究むるといふことが必要であります。一切の學術について博く學ぶのは見識を高むる所以であり、專門の學術を深く究むるのはこれによりて一世を指導する所以なのでありますが、綜合大學制は即ち一切の學術について最高の知識を集めて居るのであり、研究室の設備は專門の學術に就いて遺憾なく深く究むることを期してゐるのであります。學問研究のための第二の條件は研究の自由といふことであります。將來の發展を目標として社會を指導せんがためには、種々の場合を假想し、種々の思想に就て極めて自由に研究することが必要であります。眞面目なる研究に對して、我が大學が外部からの壓迫を排け、其自由を保證することは申すまでもないことであります。たゞ動もすれば放縱に流れ、或は國法に觸るゝが如きことはあつてはならないので、これは十分に戒めなければなりません。以上の條件が充された上に更に必要なることは、研究者が常に虛心坦懷、謙讓の態度によりて事物の眞相を明かにするといふ心掛けであります。所謂學者的良心を失はないことで始めより一方に偏したる見解を持ち、又は一の學說を盲信したる熱狂的態度を以て、事に從ふことは深くこれを愼まなければなりません。斯くして十分愼重なる研究によりて得たる成果こそは、實に一世を指導する原動力となるべきものであります。斯の如き意味に於て學術の研究に從事する人は、眞に其任務の如何に重大なるかを自覺すれば、其人格は自ら完成されるものであると思ひます。私は新入學の諸子が正しく大學の眞精神を體して學に進まれんことを希望致します。

次に私は近時の社會の形勢に鑑みてなほ一言諸子の注意を促すことを私の義務と思ひます。それは所謂社會科學の研究に關して動もすれば常軌を逸して國法に觸れ、其一身の前途を誤る人が時々現はれることで其人のため國家のため甚だ遺憾と思はるゝことであります本來より言へば近世に於ける產業の改良進步に適應して、社會の組織制度を如何に改良すべきかを研究すると云ふのは、極めて當然のことであつて、寧ろ奬勵すべきことなのでありますが、一派の人々の如く、教官の指導を避け、一たび輕信したるマルキシズムを以て金科玉條とし、熱狂的態度を以て之を信奉し其宣傳に努めてゐるといふのは、これは決して學問を研究する所以ではないのであります。マルキシズムは近年二三の人々の熱狂的なる宣傳と、我國に於ける流行性とのために、頗る氣勢を揚げて居る樣に見えるのでありますが、其說には重大なる缺點があり到底信ずるに足らざるものであるといふことは、寧ろ世界に於ける學界の通說であるかと思ひます、例へばマルキシズムの唯物史觀を根據として居るが、一切を唯物的に觀て精神的方面を蔑視して居るのは甚だしく誤りたる僻見であるといふこと、又假りに唯物的に見たとしても此世は決して鬪爭の結果として出來たものではないといふこと、更に又、マルキシズムの中心點をなして居る勞働價値說即ち物の經濟價値は勞働によりて定まるといふ考の誤つて居ることと是等はいづれも批難され論爭されて居るのであります。殊に私は從來自然科學の研究に從つて居つたのでありますが、自然科學の立場から見ても右の如きマルキシズムの主要論點は明かに誤つて居ると思はれるので、一派の人々が動もすれば其論據が自然科學方面にあるかの如く論じて居つたのは全く一の空想に過ぎないと思ひます。私は此際に於てマルキシズムの當否を論斷しようとして居るのではない。說の當否は專門の教官に就て質されんことを希望するのであるが、こゝにはたゞ其說に對して重大なる疑點があるといふことを申述べて、諸子が學に入るに先立つてこれを盲信するの輕擧を敢てせざらんことを注意したいと思ふだけであります。況んや大學は飽くまでも愼重に事物の眞相を研究する場所であつて、決して輕々しく信じて實行に著手する場所ではないのであります。私は諸子が深く此點に留意せられんことを希望します。始めから一派の主張に心醉し熱狂的態度によつて其實行宣傳に努むるが如きは是れ明かに學生の本分に背くものなので、斯くの如き人々に對しては本學多數の學生の迷惑にならざる樣、速に退去せられんことを求むるより外に致し方はない。私は吳々も諸君が其進路を誤らざらんことを希望致します。

諸君、人を正うせんと欲すれば先づ己れを正さなければなりません。私はこゝに本學の教職員全體を代表して諸君と共に、大學令第一條の眞精神を體せんことを期する旨を申述べて宣誓式の告辭と致します。

綜合大學の實を示す 特別講義の復活
十七日小南教授を先陣に以後每金曜に開講

本學では從來各學部講義の獨立性の不便を除去すべく岡田總長時代より一般學生の爲めに特別講義を開いて綜合大學たる特質を發揮して來つたが每年春秋二回開かれたのみで未だ其の實を擧ぐるに至らなかつたのを遺憾とし來る十七日其の第三十五回目の講演會を迎へるを機とし次回より每週金曜必ず所謂金曜講義を開講することゝなつた。講義が一回で終らない場合は金曜より連續的に每日開かれる筈で題目は多數の聽講者を集める爲めなるべく一般學生に興味あるものを選ぶことゝなつてゐる、其の皮切りは來る十七日午後四時十五分より一時間半にわたり舊法經講堂に於て本學醫學部教授小南又一郎博士の講義がある筈で演題は「癲癇と性格異常および犯罪」で三回連續で二十日に終る豫定である

排酒せよと蹶起した 教授連の署名運動
贊成者すでに五十餘

今年は中止に決した園遊會を又復活させたいといふ一部學生の希望で、そのために愈々來る十五日に代議員會が開かれ、酒をめぐつて大論戰が張られることになつたがこれをきいた教授中の禁酒派の親玉青柳(工)駒井(理)中島(法)藤浪(醫)の諸教授は一大事とばかり、園遊會に酒をのむの害を說いた趣意書を全學の教授間にまわして署名運動に移つた、九日までには既に五十餘名の贊成署名者を得、中には、日頃酒は健康によいと說いてゐる醫學部の戸田教授なども混つてゐるのは面白い、又九日の評議會でもこの問題に相當花が咲いたらしく、果して禁酒派のデモンストレーションがどれだけ效果を現すか頗る興味ある問題だらうこれにつき駒井教授は左の如く語つた

私達は飲酒そのものゝ害を云々しやうとするのでなく、園遊會の如きあゝした席上で、酒を出すのが良くないのですからその點ははつきりしておいて頂き度い、ですから五十餘名の署名者の中には、飲酒派もゐますたゞ園遊會での酒に反對なのです、署名者はまだ〳〵あるでせう

嚴肅裡に 宣誓式行はる

十一日午前九時より本館大ホールに於て莊嚴なる宣誓式が行はれた定刻總長は滿場起立の裡に徐ろに登壇、別掲の如き告辭をなした、それに對して大學院學生、本科學生の代表が靜かに進み出て宣誓をする。九時半頃より、各自胸をとどろかせつゝ大學院學生は總長の前で、一般學生は各學部長の前で金線嚴めしい學籍簿に署名をした(寫眞は署名の光景)

來る十五日開催の 臨時役員會
創立記念園遊會の成否如何!

左記代議員諸君の提案になる、創立記念園遊會復活に關する學友會臨時役員會は愈々來る十五日午後五時より、本館階上教官食堂にて開催せられることに正式に決定せられた。右に就き、提案者の一人田中君を大野學生主事の室に訪へば、同君は、提案に對する考へ方が變つて來たので、今提案の趣旨を申上げることは出來ません、同志の諸君とも充分の相談も出來て居りませんから、とて、多くを語るを欲せざるものの樣であつた。因に提案代議員は

柔道部 銅金鍵一
馬術部 松本達次郎
ボート部 高寺市之助
ボート部 大森道直
共濟部 平野才一
音學部 飯沼幾三
松本武男
各務勇
柔道部 松本正順
田中季雄

今夏ワルサウで開く 萬國外科學會へ
來月出發の日本代表鳥潟教授

今夏、七月二十五日より二十八日まで、ポーランド、ワルサウ醫科大學に於いて、同國主催にて開催さる、第八回萬國外科學會に、本學醫學部外科部長鳥潟隆三博士は日本代表として出席する。此の學會は四年に一回だけ開かれ、さきの第七回學友會はブラッセル市に於いて開かれた。每回世界各國斯界の權威者が集まり、各々その研究の結果を發表し、且又學說の異なる點に付き討論するのを慣例としてゐる。因に博士は六月初旬、シベリア經由にて、渡歐の途に上る豫定なるが、歸途、歐洲各國を歷遊し、著名各大學を視察し、以て歐洲に於ける最近の外科學界の狀態又び將來の趨向を探究して、本年十二月頃歸朝の筈

親睦と宣傳をめざし 組織再び成る
京都學生エスペラント聯盟

本年二月頃より關係者學校の間に協議が進められて居た京都學生エスペラント聯盟の再組織も、此の程規約草案、事業方針等が大略決定せられるので、去る五日三高尙賢堂に於いて、盛大に發會式があげられた。京大、醫大、同大、三高、高工、藥專等の代表を始め本學醫學部八木助教授等四十餘名の出席者あり、委員長に京大宍戸君最初の事務當番には京大エスペラント會が推され、聯盟は各校エスペラント會の親密を計ると共に、あらゆる機會を、中立國際語の普及のために努むべしとの京大の希望可決され、午後一時に開會された發會式はめでたく午後七時閉會さる、右に就き京大側一委員は語る

「この聯盟の綱領草案は單に對內的社交俱樂部的であつたので口に戰鬪を唱へる以上は、積極的に活動すべきであると主張したが、僅かに草案の改正を見たにすぎなかつたのは殘念でした」と

定期理事會

尙、京大エス語會では決經濟に於ける講習の代りに、文學部にて行ふ計畫中であつたが其の可能性が充分にあるので、大いに力を得て、今後は每週火曜に定期理事會を開いて諸般の事務を議することゝなつた由。

製造元より「需要家へ!」
各種毛布
京大共濟部指定
一般向は申すに及ばず登山、海水浴行の寢具として至極適當の品を安價に提供致します
大阪市東淀川區長柄中通四丁目
大阪毛織株式會社
電話堀川自六三一至六三五

具體化した 學內賣品值下運動
調査・抗議等の 申合せをした六日の大會

學生消費組合運動の一過程ともみられて居る、學內販賣店、食堂等の賣品値下げ運動の第一聲は去る六日午後三時より本部地下室食堂に於いてあげられた。參會者四十數名、實行委員から、學內販賣品が市中の商品に比して可成りに高いことを、一々立證し、中には二割の高價を示すものゝあることさへ暴露せられた。參會者中より二三の質問のあつた後、左の如き申合せをなし其積極的の活動に入ることゝなつた

尙一層實狀を調査し廣く學生に發表すると同時に、委員は學內の各販賣店の責任者に對して、抗議文を提出すること

愛媛縣下へ 視察旅行を
農林經濟科で

農學部農林經濟學教室では今度、エクスカーションの季節になつたので去る十一日(土)は宇治へ茶業の見學に行つたが、更に左記の日程で愛媛縣下の視察旅行を行ふ豫定である。

五月十七日(金)神戶午後十一時發(別府行汽船)
五月十八日(土)午前十時四十分高濱著、余土村產業組合其他視察(今治著) 夕刻より今治市にて農業經濟集談會開催
五月十九日(日)鯛網見學、夜發汽船にて歸途に著く
五月二十日(月)早朝歸京
費用、十三圓(往復汽車、船及び一泊宿料)

參加希望者は農經第一研究室に申し出でられたしと。尙他學科學生の參加も歡迎する由。

御親閱參加數

五月廿三日大阪城東練兵場の御親閱本學參加者數は左の如し

法一二一、經三三、工一九、文三一、理一六、農一三、醫一三、臨數二六、別に乘馬隊二六、總數二九六

御親閱豫行 は次の如し

▲五月十四日(火)午後零時卅分三條京坂停留所附近に集合、京都練兵場に於て實施、午後四時卅分終了見込、注意當日は晴雨に拘はらず實施、電車賃は大學にて負擔集合場所にて交付▲五月十八日(土)午後三時卅分より本學運動場にて實施、午後四時卅分終了見込、注意雨天の際はそのまゝ廿日(月)に延期▲服裝は御服制帽▲御親閱豫行參加證に學部氏名を記入攜行の事▲參列者は必ず豫行に出席すべし

山本博士南洋で 日蝕觀測に成功
コロナの寫眞四十五枚を撮影

【ランサ特電 十一日午後一時四十八分著】山本一淸博士よりの第二信の英文の電報は、一昨日天文臺に著いたが、電文には當地に於ける日蝕の觀測はうまくゆき、コロナ及び雲を通してコロナ・クロニネンスの寫眞四十五枚を撮影したとあるので、天文臺ではこの成功に大喜びである、因にコロナは太陽を包んでゐる綠白色の淡い光りで、學界に於ても未だ正體の分らないものだけに、山本博士の觀測の結果は學界に多大の貢獻をなすものと期待されてゐる

期待外れた 本學天文臺

九日午後四時三分からの日蝕觀測に本學宇宙物理學教室では室員總出で準備萬端整へ、待ち構へてゐたが肝腎の天氣は晴れやうともせず、午後に至つては却て雨模樣にさへなり、折角の期待を裏切られてしまつた

南洋からの 觀測通信
天氣で大成功

【ランサ特電 十日著】かねて日蝕觀測のため蘭領スマトラへ行つた山本博士は、スマトラ北部東岸ランサの北方那子園內に觀測所を定め、緊張裡に九日の日蝕を觀測したが、この日天氣晴朗で、山本博士一行の觀測は大成功を納めた、尙詳報は追て本學天文臺へ著電する筈

廣告

輓近 高等 物理・化學講座 會員募集

監修 京都帝國大學名譽教授理學博士 大幸勇吉 東京帝國大學教授理學博士 田丸卓郎
編輯 東北帝國大學教授理學博士 箕作新六 理學士 栗山隆

抑々二十世紀の王者自然科學が物理・化學に窮極することは、殊更こゝに呶々するまでもない。さればこそ必要のため、或は趣味のために斯界に志すもの年々その數を增し、斯學は今や時代の寵兒たらんとしてゐる。げに之が全般的知識の獲得は吾等國民の最大急務である。然るに何ぞ！我が邦に於て、之が系統的解說書の極めて少く、多數研學者及び學習者より徒らに斯學難關の歎聲を聞くは！

吾等こゝに見る所あり、曩きに「輓近高等數學講座」「輓近初等數學講座」を刊行し絕大なる好評を博したる實際的經驗と確實なる計畫とを以て茲に「輓近高等物理・化學講座」を發刊せんとす。即ち本邦斯界の錚々たる權威者を網羅し、徒らに高踏的なる學術語の羅列よりなりし、從來の參考書類の弊を一掃し、中等程度の斯學の教養あるものには何人にも極めて容易に而かも興味深くその明確、且つ最新の智識を系統的に會得せしむるべく執筆編輯に努力した。されば本講座出でゝ初めて本邦物理・化學界の全分野は完全に整理展開され、他に類例なき一大殿堂が建設されること、確信する。些かにても斯學に興味を有する諸氏よ！來つて吾等が企圖をして有終の美を濟さしめよ。

見よ！本講座に網羅されたる本邦斯學の權威者を！

物理學部：量位及測定論、物理學史、物理數學、ベクトル、質點及剛體の力學、流體力學概要、彈性學概要、物性、表面張力論、結晶物理學、音響學、音樂理論、熱學、熱力學、氣體論及統計力學、光學一般、幾何光學・光學器械論、電氣磁氣學、眞空管及電磁波、X線、放射能、相對律、量子論及原子構造、スペクトルと原子及分子構造、工業物理學、地震學、氣象學、一般天文學、航空物理學

化學部：一般化學、熱化學、熱力學的化學、分子論的物理化學、量子論的物理化學、電氣化學、光化學及放射化學、原子價論、コロイド化學、無機化學、岩石鑛物化學、金屬學、有機化學、有機物の分析、藥化學、生化學、生物物理化學、榮養學、農藝化學、水產製造化學、醱酵化學工業、皮革工業、無機定性分析、無機定量分析、無機化學工業、電氣化學工業、化學機械學、珪酸鹽工業、冶金學、寫眞化學、燃料、油脂・塗料・石鹼、色素中間體及染色、纖維素化學工業、製糖工業、香料工業・澱粉・薄荷、火藥學、ゴム工業

附錄 科外講義、雜錄、各大學編入試驗問題及解答、文部省教員檢定試驗問題及解答

締切 六月二十日

入會略規
全卅卷
每月各部一冊宛發行

東京・神田・南甲賀町 振替東京四六〇七四 電話神田二六二四番
共立社

論説

高等試驗令の改正に就て

教授　鳥賀陽然良

在來の高等試驗令に依る試驗科目では法科萬能の批難を受けたのであつた。然し國家組織の整備時代に在つては司法は固より言ふを待たない、政治、外交が法律の運用のみに留まつたことは已むを得ざる現象で深く怪むに足らない、從つて人才登用の一手段として法律智識を習得したる人々が重要視し他の學科を修めたる人士多く要求しなかつたも無理はない。

社會は常に進展しつゝあり、其の組織は益々複雜となるに伴れて單なる法律智識の修得のみを以てしては政治、外交並に司法事務を完全に遂行するに足らなくなつた之が爲めに從來永く行はれる試驗制度改正の叫びを喚起したこと亦必然の要求として觀察せねばなるまい、之れに連れて一度は改正案の發表もあつたが、輿論の激しき反對に會つて遂に其の實現を見合せた、爾來強く要求せられた改正も甚だしく難産の姿で荏苒數年を過ごしたことで、之が產婆役も隨分氣骨を折つたに違ひあるまい。世人も健全なる赤子の出産を期待した、さて愈々昭和四年三月廿七日勅令第十五號で試驗科目の發表があつた、呱々の聲を擧げて生れた赤子は左程期待せられた程健全なものとは思はれないことを遺憾とする。

先づ第二條第一項に於て「高等試驗ハ毎年一回東京ニ於テ之ヲ行フ其ノ期日及場所ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ公告ス」とあつて、從來も其の通りで立法の精神は統一的に公平に試驗を行ふの趣旨であらうが、此の點は少しく改めてほしかつたのである、單に試驗を行ふ政府者の都合を見たもので其の之を受けやうとする應試者の立場を少しも考慮中に置かれて居ない、應試者の神經は隨分過敏に陷つて鋭尖である。東京又は其附近の地方の人々にとつては東京に於て應試することは左程苦痛を感じないであらうが、地方の人々にとつては東京に出で行くことは啻に經濟的のみならず精神的に東京其の附近に在住せる應試者よりも非常な不利益なる地位に立つものと謂へやう、殊に本試驗に於て筆記試驗と口述と二回の東上を餘儀なくせらるゝものであり、豫備試驗を受くる人にとりては更に一回を加算せねばならぬ、旅行の日時と其の費用は地方在住所に採りて大なる負擔と爲る譯である、予は此の意味に於て試驗の場所を數箇所に設けてせめて筆記試驗丈けでも應試せしめんことを高唱するのである、試驗委員の同一なると監督委員の同一並に試驗期日の同一は決して不公平を生ずる虞れなしと謂はねばならぬ、政府者の出張は或は同じ意味を持つかも知れないが、試驗者と應試者とは全然其の立場と事情を異にするものである。

期日は豫め法規上に明定するを以て可とする、官報を以て豫告すれば足るやうに思はるゝが、應試者の立場を察すれば、何時の官報上に公告せらるゝものなるやを注意しなければならない所の少なからざる煩があり、常に豫めの聞合せに腐心するの事實は實に同情に價するものと謂はねばならない、由來試驗なるものは試驗官の御都合よりも寧ろ應試者の立場にかへりて考へて見ねばならない、弱き者は應試者である、成るべく僅かの氣苦労でも輕減させたい、此の意味よりして試驗期間と期日の一定を希望する。

本試驗は應試者が必要なる學識及其の應用能力を有するや否やを考試するを以て其の目的とすることは第九條の明定する所で疑ひない、之が爲めに筆記及口述の方法を採用することは已むを得ない所であらう。然し其の必要なる學識を考査する學科目に至りては大に疑を挿むの餘地を貽して居るのである。其の必須科目に付ては先づ(根本論は別として)異論はない、唯司法科試驗科目中に於て民事訴訟法又は刑事訴訟法の一を選擇せしめて居ることは果して如何なるものであらうか、必要なる學識の試驗として考察するならば司法官又は辯護士として共に必要缺くべからざるものではなからうか、受驗者の負擔が過重であると謂ふに在らば其の試驗の範圍を原理的方面に制限するも良いではないか、何處か前掲第九條に所謂試驗の目的とは一致しない憾みがある。或は必須科目が他の行政、外交の兩試驗に比して多きに失すと論ぜらるゝかも知れないが、他の選擇科目に付き其の數を減ぜしむれば決して過重の負擔とは謂へないであらう。何處か徒らに形式に囚はれて其の試驗の試驗たる本質を缺如したやうに思はる。

更に選擇科目としても、哲學概論、倫理學、論理學、心理學、社會學、國史、國文及漢文は實に行政、外交及司法の各科に共通なる試驗科目であるが、果して是等の科目が他種の選擇科目と同様なる試驗科目としての價値を保有するであらうか、哲學概論、心理學、社會學の三科を除いて他は豫備試驗の科目としては適當であらうが本試驗に於ける選擇科目としては不適當として認むるの外はない、假りに是等の科目を選擇科目に入るべきものとせば、大學に於ける各學部に於ける多數の科目亦必要なるものとして選擇科目中に加ふべき理由を見出すのである、必ずしも法、經、商並に文の四學部に於ける科目中に選定し之を重要視するの理由はなからうと思ふ。

之を要するに高等試驗令としては一方に於て缺くる所あり、他方に於て冗なる所あつて未だ完璧せざるものと謂ふを得べく、尙ほ理論と實際の上に立脚して上記以外の諸點に於ても改正を要するものあるを覺ゆるのである、今は一瞥上の所感を述ぶるに止めやう、若し夫れ人材登庸に當りて果して斯る試驗方法を以てすべきや否やの根本論に至りては自ら說なきを得ないが茲には暫らく論及しないことゝする。

園遊會に　酒　飲ますべきか　禁止すべきか

兩々相下らぬ上戸下戸

一部代議員の提唱によつて、創立記念園遊會復活のために、臨時役員會を開催せんとする報、一度傳はるや、酒の可否論は勿論、園遊會それ自身の可否論に至るまで論議せられて居る有様である。去る役員會に於て、禁酒會員の強き反對等を理由に否決 [illegible] 園遊會が、再び復活せんとして居るのである。[illegible] も伴つて！各方面の意見を求めた所以である

山田正三教授　僕は園遊會で酒を呑むのは大いに贊成だが不幸にして今年度の豫算には園遊會費を計上してゐない、然し聞く所によると復活氣運が盛んださうだが、酒を呑まんが爲に園遊會を復活せしめることには大不贊成だ、酒を出すべきか否かの問題は第二義的なことで豫算に計上されてない園遊會に酒の可否論は沙汰の限りであらう。

末廣教授　僕は園遊會に酒を用ゐるのは反對だ、友人らと私の會合で酒酌み交すのはともかくとして、公けの會合で酒を飲み揚句の果に亂ちき騷ぎを演ずるのは實に青年學生の恥辱だよ。殊に日本酒を濫りに牛飲するのは國策上の問題だ。僕は米騷動の翌年に關西の商業會議所に日本米に依る酒造半減を決議さした位だ、實は半減位では足りない。日本米の酒造全廢をせねば食糧問題の解決は難かしい。

宮本(脩)教授　園遊會にはまだ一度も出たことがないのでどんな樣子か分らないが酒が問題になつてゐるとしても、飲むこと自體は別に惡いことではないと思ふ。たゞ公開の席で狂態を演じて人を顰蹙せしむる如き行動を適當にコントロール出來ればいゝだらう、具體的方法として酒癖の惡いもの〻ブラックリストでも出來ればそれらの者の入場拒絕で問題は簡單だと思ふが、差し當り委員の方で狂態者を檢束して醉が醒めてから放還したらどんなものだ

と流石刑法家らしい提案だが先生は大の上戸黨にもかゝはらず學生のデカンショが何よりも大嫌ひであると

石野理學部長　自分は禁酒會員でもないから別に酒を他人に強制的に禁ずることは好まぬ、要するに酒を飲んでも亂れない程度だつたら結構だが人はその程度に於いて自制することが却々難かしい、自制といふことは人間にとつて最も必要な事であり、自制ある人こそ實に偉い人なんだけれど [illegible]

市河農學部長　[illegible]

宮島書記官　[illegible]

園遊會に酒類を使用するの可否

教授　中島玉吉

本年は大學創立記念園遊會の催しは、無いと聞いて居つたが、今又復活運動が起つてきた。夫れに就いて委員の一人から酒類使用の可否について意見を求められたから茲に腹藏なく私の考へを述べて學生諸君に訴へることにする。

禁酒問題は近年になつて、世界的の重大なる社會問題となつて來たのである。が、然かし禁酒問題の起りは極めて古く、殆んど有史以來の問題であると云つてもよい今事新しく私が喋々するまでもなく、釋迦を始めとし古來聖哲の飮酒を戒むるものは甚だ多い。又我國に於ても禁酒令を出した例もある。然かしながら古い所の禁酒論は、漠然たる道德論や、主觀的の經驗位に基いたもので決定的の威力を有たなかつたのである。從て飮酒論も、禁酒論も曰はく五分五分の强さであつて互に他方を征服することは出來なかつた。そこで酒の問題は、個人的の趣味の問題であると云ふ工合に妥協が成立つて居たのである。然るに近年になつて夫れが重要なる社會問題となつて來たのは「アルコールの科學的研究」の始まつたことに由るのである。

我々は私生活にしても、社會生活にしても、科學の指導する所に從つて出來る丈合理的に行動したいと念じて居るのである。そして永遠なるべき社會の生命、其の連鎖の一片たる現代人の務としては、「我」と「我が社會」を合理化して、幾分なりとも「よりよきもの」として之れを後代に讓りたいと念じてやまないのである。禁酒問題の出發點は茲にあるのである。

「アルコール」の科學的研究は種種の方面に渉る

(一)「アルコール」を飮用することが人間の身體に如何なる變化を惹起せしむるか。是れは主として [illegible]

[illegible] 有する一代目には主として肉體に影響し、二代目には主として神經系に影響し、三代四代と相重なるに及んで遂に絕滅に至る。其の徑路の如きは、今や十分精確に研究せられ、讀む者をして戰慄を覺えしむるものがある。

(三)社會上に及ぼす影響は先づ犯罪の原因となることに指を屈しなければならぬ。我國には犯罪原因の統計がないから精確の數字を擧げることは出來ない。然かし囚人に就いて飮酒を好むや否やを調査したものはある。夫れによると男囚に於ては千人中六百二十人は酒呑みである(大正十年度)尙同年の統計によると赤貧なるが故に罪を犯したものは千人中百九十七人である。何と皮肉なる對照ではないか。是れにより見れば飮酒か如何に多く犯罪の原因を爲して居 [illegible]

(四)次に酒の國民經濟上に占むる地位を見るに [illegible]

反響

◇投稿歡迎◇誌上匿名は差支なけれど原稿には必らず所屬學部、現住所、姓名を附記すること◇一篇七十行を超ゆべからず(可成短文を望む)

園遊會の復活に就て

一促進會員

來る十五日臨時役員會が開かれ、創立記念園遊會復活の可否が論議せらるるときく。斯る問題は實に一般學生と密接なる關係を有するものなれば、我々學生に對しては充分なる注意と關心とを起させるべく當局者は努力せねばならない [illegible]

創立記念祝賀會に酒を廢したき理由

教授　駒井卓

[illegible]

中央卸賣市場に就て

助教授　谷口吉彦

[illegible]

自由論壇

所謂懲戒委員會の組織改革運動者に呈す

A生

[illegible]

移轉御案內

[illegible]

ぐろりあ・そさえて

講演會

▲時　五月十六日(木)午後三時
▲所　法經第三教室
▲演題
一、社會科學研究の旗の下に　經二　小倉倉一
一、促進會を支持せよ　法二　吉村昌美
一、反動の激流に抗して　經二　平井羊三
一、法と劍の前に　經二　金子武雄
一、社會時評　寺尾
一、青年學徒に訴ふ　法三　山岡操
其の他數名
▲尙、部長　瀧川教授の講演あり
▲會後は教官食堂にて茶話會。

新醫博

[illegible]

學內辭令

[illegible]

風車

○酒がいけないのか園遊會にのむのがいけないのか、はつきりけぢめをつけてから論はう
○異境のスマトラ日が缺けて、空の祕密が寫眞になつた、夫人同道內助の功空しからず
○學內賣品値下げの聲、學士相場値上げ運動は如何
○同大から早大へ、炎は移るタンクからタンクへ！防火設備はいかがです
○潁川の綠、疏尾の白沫——日傘、パラソル、夏帽子、水淺の風もさわやかに

廣告

金港堂編輯部編纂

新式 獨逸語カード

好評忽八版

外國語を學ぶ祕訣は結局初步時代に根柢をつくるにあります。語彙を豐かにし、文法的變化、作文上の應用に習熟するによく、辭書の代用も勤め得るといふ其効用絕大なる點に於て「カード」の價値は徐々認められて參りました。本書は唯一の「獨逸語カード」で夙に全國高校、及諸專門學校學生間に愛用され、其豐富なる內容、整然たる組織、親切なる解釋、活用本位なる體裁とを以て日々能率を擧げしめつゝあります。新入生諸君に御薦め致します。

優美總入　1250枚
定價　Y 2.60
送料　Y 0.18

基礎單語の征服は 獨逸語を學ぶ 第一階梯

東京市神田區今川小路二ノ二
金港堂書籍株式會社
振替東京八八二五
賣捌　市內主要書店

主要營業品

手働及自働式電話機
手働及自働式交換機
無線電話裝置
放送無線電話裝置
放送受話裝置
列車又ハ負荷指令電話裝置
電話選出信號裝置
相互送信裝置
電話裝置
NE式寫眞電送裝置
搬送式電話裝置
遠方制御監視裝置
電話線用負荷線輪
長距離電話線
中繼用各種裝置
通信用各種
高級試驗裝置
積算電力計
絕緣抵抗測定器
電流計、電壓計
其他各種試驗機類
電氣掃除機
電熱器、電扇
電氣ポンプ、ミシン
其他家庭電化用器具
電柱軌道、其他
土木建築工事用
貨車自働車用輕便起重機(シンプレックスジャッキ)
信號線工事設計
電話、電燈
並請信保守

日本電氣株式會社
本社　東京市芝區三田四國町二番地
大阪支社　大阪市東區北濱四丁目十六番地
出張所　大連・京城・臺北

東京市政調査會雜誌【五月號】　定價五十錢　送料二錢

都市問題

◇論說及研究
我國都市行政の大恩人、後藤伯を憶ふ……池田宏
東京市財政難局の再吟味……菊池愼三
市政上の利權形態と利權掃滅策(研究員)青山嵯峨二
再び東京市の買電契約を評す…(研究員)後藤庸次
東京瓦斯の料金値下問題…(研究員)小倉庫次
販賣額及價格より見た東京小賣市場……杉原太之助
都市とグリーンの問題……橡內吉胤
◇資料
地方制度改正と議會の論議……(研究員)龜井川浩
本邦都市屎尿處分の概況……(研究員)樫木徹
◇最近都市事情
東京新市長選擧の經緯
東京市電の乘車狀況
最近市電の從業員問題
小樽市の電車市營計畫
歐洲大都市の路面電車
イギリス都市の煤煙防止
國民政府の都市政策
ロンドンの街路照明、其他
◇日誌◇圖書
◇都市問題索引

東京市麴町區有樂町一ノ一
振替口座東京一七六〇九
東京市政調査會

榮冠は法學部クルーに

きのふ、五月晴れの瀨田川で　鎬を削った水上大會

好天氣に惠まれて學友會主催第二十三回水上大運動會は昨十二日午前九時より石山下瀨田川コースに於て擧行された。當日は新城會長を始め多數の教授學生連の來場應援あり中にも多數の婦人の來會者が目につき好晴の故にか例年にない人出であつた。當日の呼物である七學部對抗優勝レースは、次の如き白熱戰の末遂に法學部の優勝する所となつた時に七時

第一回戰

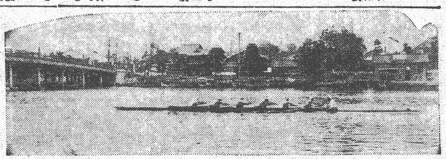
○工學部―農學部
タイム　九分十五秒
艇差　半艇身
スタート邊にて工先んじ柳屋のカーブで兩艇平行ラストに於て農は腹を切りて勝利確實との豫想を裏切つた

○文學部　獨漕
○經濟學部―理學部
タイム　八分五十八秒
タイム　八分四十二秒
艇差　二六艇身
實力の差は如何ともすべからず、終始經はリードしてゴールイン
○法學部―醫學部
タイム　八分四十一秒五分四
艇差　三艇身
螢谷で半艇身遲れた醫は力漕するも法の堅腕益々調子出で柳屋で二艇身決勝點で三艇身と次第に兩艇は離れて終る

第二回戰（三時半）

○文學部（石山側）―工學部（瀨田）
タイム　八分五〇秒二分一
艇差　五艇身
文はスタートより優勢、螢谷で約二艇身勝つ頃より工は疲勞甚だしくて敗る
○法學部（瀨田）―經濟學部（石山）
タイム　八分三十五秒
艇差　三分一艇身
始め法の漕ぎ出しよく約一呎先んじたが艇庫前にさしかゝるや經頑張りを見せ兩艇は平行に進む柳屋カーブを利用して西側を漕ぐ經は法を拔くと見るや觀覽席前で法又經を拔き返し觀衆は我を忘れて總立ちとなる、ゴール前八十米へ

ビーをかけた經は三度法に先んじ之より後は兩艇拔きつ拔かれつ火の出る樣な白熱戰となつたがラストに於て疲勞をオールの亂れに表した經は僅か三分の一艇身で怨みを呑んだ



力漕むなしく―　文學部遂に惜敗す

◇……一艇身二呎の差を以て

かくて當日最後の花たる優勝戰は法學部石山側、文學部瀨田側に陣取り六時四十分（無風）火蓋を切られた。文出足よく螢谷で一艇身半法を制したまゝ公園下にかゝるころ、法漸く調子付き一本々々力の籠つたピッチは文を拔き始めた。いよ〳〵日沒の決勝點にかゝるも文のピッチ出でず法は一艇身二呎の差を以て堂々優勝す。タイム八分四十八秒五分三

學部選手

	（法）	（經）	（文）	（醫）	（工）	（理）	（農）
舵手	大野	井手上	松岡	藤村	岩永	細野	榮竹
整調	行田	稲井	長谷川	稲塚	新堂	前田	塚本
五番	瓜生	川崎	宮田	押切	金崎	澤村	鎌野
四番	上村	圓山	山木	影山	中島	竹岡	松村
三番	高寺	池田	蓮實	吉田	松井	和田	本田
二番	森	内野	松澤	海住	會原	高榴	永會
舳手	浦野	福井	阪本	福田	石田	山路	岩城

本學の猛者連　演武大會に出場

武德殿に於て

去る九日より岡崎武德殿に於て開催された武德會演武大會に本學柔道部及劍道部より多數出場し萬丈の氣焔を吐いた

◆劍道部（本學）
四段　森岡―王利（東京）
三段　田川―湯口（滿洲）
同　森田―齋藤（東京）
同　中尾―福島（靜岡）
同　松本―山本（山口）
同　梅本―阪田（靜岡）
同　田村―荻（鹿兒島）
同　野一色―山田（山口）
以上の組合せにより十三日より試合を行ふ。森岡は精錬證獲得するか否かといふ所で十分期待されてゐる
◆柔道部
九日、十日兩日に於ける本學柔道部員の奮鬪の跡左の如し
本學

二段　○荻野―北條（武專）
同　分日野―新井（武專）
三段○　富田―中山（山梨）
同　○秦―小谷（福井）
同　○船津―小川（武專卒）
同　分小林―河野（武專）
同　分根本―土居（武專）
同　○山本―於久（武專）
四段　○野上―鈴木（東京）
五段　○銅金―大石（神奈川）
取り組むや小内刈に敵を倒し業有りを其まゝ縱四方に固めんとして逃れ崩上四方固に移つて勝を制す
銅金五段立つや内股を試むるも利かず引込み返して得意の橫四方固に決め悠々と勝つ
銅金野上の他の者は取組んだ相手方が恐れて棄權する者多い結果武專の苦手と對戰した爲勝星が少かつた。

講武會主催―　演武大會

昨年六月柔道部が新しい試みとして寄宿舍構内舊道場を開放して一般地方青年の爲め柔道指導に力を注いで來たが其効果あつて日々盛況となり未だ一年足らずの今日入會者百二十名にも達し其中初段二名、一級十數名を出し技の進歩の迅速は豫想以上であつた。一周年を迎へるに當り來月一日を記念柔道大會を擧行する。

隔意無く語り合つた　有信會の新入生歡迎會

法學部有信會の新會員歡迎大懇親會は例年の通り八日午後三時より本館樓上に於て開催された。參會者鳥賀陽、中島、竹田、宮本（脩）末川、田村、牧各教授を初めとして學生無慮一千名、委員高松亮君の開會の辭、次いで鳥賀陽教授は巨軀を壇上にはこび新會長として次の如き挨拶をのべた。
本會の創立されたのは大正九年で明年で丁度十年になるが現在の學内會員は新會員五百名を加へて約千五百名學外を加ふれば五千二百名を算し今後年を加ふると共に益々膨脹發展するものと固く信ずる次第である。元來本會の主旨目的とするところは會員相互の親睦を計つて心と心の結合によつて有力なる團體生活を養成する點にあるから會員はどこまでも互に腹心の友であつてほしい
更に同教授の會計報告の後委員諸君の事業計畫報告、川淵君の新會員歡迎の辭並に各教官先輩の挨拶等があり互に歡談を交へて六時盛會裡に閉會した

これも和氣靄々たる　同好會の歡迎會

既報、經濟學部同好會の新入生歡迎懇談會は去る七日午後五時より本館樓上教官食堂にて、教授學生約三百名の出席、勞頭委員の開會の辭、本庄部長の挨拶あり、次いで五分間スピーチに移り、神戸先生の三十年間の回顧錄、英獨流の寄宿舍制度の紹介、高田博士の饒舌の皮論、作田、谷口兩先生のユーモアを含んだ洋行失敗談、石川先生の眞面目な「よく學びよく遊べ」のお話、加ふるに一好色漢の唯性史觀の提唱あり、貧しき顏生の美辭麗句を連ねた雄辯を揮ふや…

十四日朝より　開通する　工事中の大學線

アスファルト道と安全地帶標とが大學裏を東に突つ走つて、所謂市電大學線も漸く竣工した。電氣局工務課の語る所によると、監督官廳の檢査やらその他の都合で、豫定よりは幾分遲れ勝ちにならうが十四日早朝には大丈夫開通の運びとなると。尚、今回の分は、疏水に沿うて淨土寺西田町に至る延長零、六九七哩である。これによつて大學一帶も市交通圏内に入るわけで、鹿ヶ谷の奧から、プラタナスの葉影に初夏の夜をそゞろあるく學生も多くなることだらう

…滿場どよめきを止めず、かくてレコード・コンサートに至るやベートヴエン等々歐米の名曲は人々をなごやかなる色に導き、最後に萬歳を行ひ午後九時半散會した。

御親閲に　參加の馬術部

此度聖上陛下の大阪行幸に際し廿三日に擧行される御親閲式に本學馬術部は運動部中唯一の列席の榮を厚うし、同部は勿論本學の光榮此上なきものがある。廿二日は豫備演習を大阪で行ひ當日は杉本以下廿四名は大阪騎兵聯隊の馬に跨つて晴の式に列席する。
馬術部を訪へば「大阪、神戸を含む關西聯盟及び京都聯盟と伍して我が帝大馬術部が三團體の中の一つとして列席出來ることは部員一同恐懼おく所を知りません。日頃のたゆまざる訓練と陶冶とを此の日に發揮することこそ、選ばれたる我等の希ふ所にして又同時に御親閲の精神の一端に適ふ所以のものです」と

米國の動物學者　ヘグナー博士の講演

「宿主及寄生蟲の特殊性」に就いて

米國ボルチモア市ジョンス・ホツプキンス大學衞生學部醫用動物學教室主任ロバート・ヘグナー博士は今般、マニラ大學に同樣な教室が出來るので、その創立指揮の爲出張の途次來朝、東大で講演したが、本學でも十日午前四時醫學部病理學教室で講演を行つた。劈頭先づ藤浪教授は同博士を紹介し、次にヘ博士壇上に登り「宿主及び寄生蟲の特殊性」と題し
寄生蟲は如何なる宿主にても自由に侵入し得るものにあらず、宿主の種類によりて特殊性を生ずる、又この特殊性に嚴密なる特殊性と薄弱なる特殊性とがある、例へばある種の寄生蟲はある特殊の宿主にのみ寄生し、他の種のものは人、豚、猿、天竺鼠等、多くの宿主に寄生しうるが如きものである。然しその差はあつても大體一の特殊性がある。この事實は宿主の進化の系統を暗示する。人と猿、鷄とホロ〳〵鳥の如く先祖の同一なものには同じ種類の寄生蟲が入る。これは、實驗的に研究し得る。人間の寄生蟲を猿に植ゑ、鷄の寄生蟲をホロ〳〵鳥に移植して成功する。何故此の特殊性があるか、原因は未だ明かでない、食物の關係が幾らかこれを支配してゐるかも知れぬ、一體肉食獸には寄生蟲の種類が少なく、草食獸には多い。鼠に肉だけを與へると今迄の寄生蟲の種類が減る、これから見ると食物の關係は重大な要素かも知れぬ
とて簡明平易なる英語で約四十分間の講演をなし、將來有用なるべき斯學の研究を發表し、終りに農學部湯淺教授は英語で鄭重なる謝辭を述べた。

臨時役員會　對策座談會　明日地下食堂にて

學生の利益のため常に進歩的活動を續けて來た所謂從進系の人達は新入生を迎へて今日迄の活動内容の紹介を兼ね、來る十五日の臨時役員會に於ける創立記念園遊會復活對策に關する同會代議員の態度について座談會を十四日（火）午後三時から地下食堂で開く筈であり當日は多數の來會を望むと

「盛會だった」　狹窄射擊會

射擊部主催春季學内狹窄射擊會は十日農學部構内本學狹窄射擊場に於て開催され會するもの約五十名に達し、本射五發、滿點廿五點であつたが當日記念賞を得たる者次の如し

廿三點	法	山澤鐵次郎
廿點	理	佐々木教授
同	法	山田實
十八點	法	荻原信夫
同	工	木村和三郎
同	法	鎌田保

鬪爭形態を變へて　飽まで初志の貫徹に

中島教授以下固き　同志社學生の決意

同志社の紛糾は法學部教授團と理事會の握手の爲に急速に轉換し學生團も授業ボイコットを解くことに決し、八日の學生大會にて…

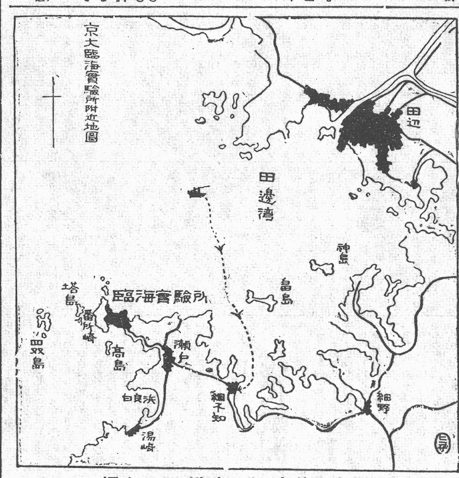
奈良電車
美人なら
濃艶　日本一長谷寺のぼたん　京都・初瀨間　一時間四十分　一圓三十一錢
清楚　奈良千年の春日ふぢ　京都・奈良間　四十五分　六十五錢
京都は省線京都驛構内よりお乘り下さい

天降つた委員　文の學友會

文學部學友會では九日午後五時より委員會を開いたが、學生側委員はいかなる標準によつてか、天降り的に任命され、豫算の決定をなした。その結果でもあるまいが運動部費は例年より百五十圓の増額を見た、尚今年度旅行は六月初旬に伊勢まゐりを兼ねて木曾川下りをなすことに決定したとの由

化學談話會　明十四日（火）午後六時半より樂友會館に於て開催演題及講演者左の如し
一、室内傳染對室内消毒、特に和室に就て、戸田醫學博士（内容は室内に發散された泡沫傳染と其の處置、同結核菌其他抵抗力强き菌芽の塵埃傳染と其の處置害蟲驅除法（虱、蚤等）
一、科學に立脚せる瓜哇の生活並産業、中瀬理學博士（映畫公開あり）

尚近く春季學内實彈射擊大會を深草陸軍射場に於て催すから同好の士は奮つて參加されたしと、又同部は當分每週土曜日に深草で實彈の練習を行ふ



輝く五月・紺碧の海・光榮の南紀

月見草匂ふ桔梗平の　本學臨海研究所

用意萬端既に成つて今は只行幸を待つのみ

南紀―歐洲で云へばイタリアかそれともニースと云ふ所だ、たとへば、色彩の乏しい冬の町の店頭を暖かい色で飾るあの蜜柑を思はす、その南紀の五月は、野も山も海も空も、くつきり彩られた水々しい夏だ、桔梗平には月見草が咲いた、その月見草の間に輝く紅い瓦の建物―本學臨海研究所は光榮の五月を迎へた、おゝ、五月、五月、光榮の五月、紺碧の水はキラ〳〵躍る鬱々たる自然林には白魚のやうに陽の光がはしる、この月二十六日畏くも生物學に深い御造詣を有し給ふ聖上陛下には、我が研究所に御臨幸遊ばされ、南海の諸生物を御探究遊ばさるゝのである、この光榮に感激した本學關係者は今やその準備に忙殺されてゐる
本學臨海研究所は、南紀西海岸の小半島桔梗平、潮岬の北方四十哩、大阪から八十哩の地點、うねうねと寄せ來る黒潮の音と鬱々と響く松林の囀とのコーラスの中に美しく建つてゐる、昨日宮島書記官、駒井研究所長をはじめ關係者は、準備狀況の視察と光榮の日の豫行演習を行つたが、特別研究室内居室を改裝した御便殿は新裝をとゝのへ、實驗室の壁間には近海動物の畫面が掲げられてゐる。附近採集の動物、海草、模型、參考品すべてが、今やたゞ光榮の日をお待ち申し上げてゐる
廿六日早朝！御召艦は田邊灣頭に投錨、陛下には水雷艇に召されて午前十時綱不知に御上陸遊ばされる、それより廿餘町御ひろひで研究室に向はせられ御便殿で御少憩、賜謁の後、實驗室で標本を天覽遊ばされ、約三十分次の諸氏が御說明申し上げる
「附近の地質、温泉、化石に就て」地質鑛物學科石川成章講師▲「附近の海産動物に就き」駒井卓所長▲「附近の貝類に就て」地質鑛物學助手黒田德米氏▲「附近の浮游生物について」研究所員赤塚孝之助教授▲「附近の海藻類に就て」研究所員井狩二郎氏▲「附近の海藻及蜜柑の生物化學的研究に就いて」生物化學科小松茂博士
次いで新城總長の御先導、駒井所長の御說明で、職員研究室や水族館式の水槽に成らせられ、これに先つて學生實習室で和歌山縣の天覽品を御覽遊ばされるが、この間約三十分、陛下には御便殿に御歸りの上、御中食を召される
御中食の後、即ち午後一時、陛下には新造の傳馬船に御坐乘、隨行船二、三を從へられ、四双島、塔島、番所ヶ崎の絕景の間を、畏くも陛下御親らの御指圖で、潜水夫に命じて海中の生物を御探集――かくて、碧玉のやうな海、さはやかな南海の風吹く裡を、陛下には德川賴貞侯所有の畠島に御上陸、古代さながらの貝の化石や砂中の動物を御覽になり、更に珍しき漣痕（太古の波をそのまゝとゞめたる汀の化石）を御探究遊ばされる
畠島御探究後、陛下には再び御乘船、原始以來斧鉞を入れられざる處女林鬱蒼として五月の陽光を浴んで輝きわたる神島へ御巡航、御展望遊ばれつゝ、午後四時頃御歸艦の御豫定であるが、若し、この日雨の場合には、海上御採集は御取りとめとなり、午後はこれに代つて、總長の決定する本學教授が御前講演を申し上げることになつてゐる、この名譽を擔つた本學では、更に、附近採集の貝類の化石、海藻、浮游動物を一揃ひづつ獻上し、永く陛下の御參考に供する筈で、これは總長自ら御召艦に持參の上、獻上申し上げることにならう
輝く五月、波躍る海潮、榮の研究所、草も木も、鳥も魚も歡喜のうちに若き天子をお迎へしてゐる

スポーツ欄

戰績ては――　不首尾だつた　對同志社戰

新に生れた關西三大學野球リーグの第一戰である本學對同大第一回戰は五日午後二時より絲ヶ丘球場で擧行された、兩軍第一投手を立てゝ第一戰に勝たんとつとめ目覺ましい投手戰を演じたが不幸三回目に同志社は二四球に二走者を出し連盗後外野フライと内野ゴロに二點を得たまゝ二對零で本學惜敗した（球審能勢壘審川村）

同大（先）				京大		
中	渡邊	32打數29	遊	丹羽
二	北山	4安打2	左	竹森
三	長谷川	1犧打0	一	瀬脇
投	小島	8三振9	中	柴田
右	白石	5四死1	右	石田
捕	松井	6盗壘1	捕	才木
遊	松尾	1失策1	三	關谷
一	古田	1三打1	二	鹽江
左	杉浦		投	木村

得點　同002000000=2　京000000000=0

對同大二回戰は兩軍石田と副島を立てたが、兩軍よく打つて兩者をノツクアウトして第一回戰と同樣木村、小島の對戰となり七回迄五對四で接戰を續けたが八回裏同大一擧四點を入れて大勢を決し本學再敗した（能勢豐田兩氏審判）

京大（先）				同大	
左	竹森	34打數37	中	渡邊
遊	丹波	11安打14	二	沖
一	瀬脇	1犧打0	三	長谷川
右投	木村	2三振7	右	白石
投右	石田	1四死5	捕	松井
二	三宅	1盗壘4	遊	松尾
中	柴田	4失策3	左	杉浦
三	關谷	0二打2	捕	柳田
捕	才木	2三打2	一	太島
			投	副島
			投	小島

得點　京大100030000=4　同大01022004A=9A

本學8大外語1　關西學生庭球試合

關西學生庭球第三次試合は五日行はれたが本學八對一で大勝した成績次の如し
丸山、長谷川（京）6―4、6―1中井、神田（外）佐伯、金谷（京）6―1、6―1川上鈴木（外）西村、岡本（京）6―0、6―1松山、室元（外）矢崎（京）棄權中井（外）丸山（京）6―2、3―6、6―2神田（外）岡本（京）6―1、6―0川上（外）金谷（京）6―0、6―0松山（外）西村（京）6―1、6―0室元（外）岡本（京）6―4、6―3鈴木（外）

水泳部行事日程

▲6月5―16日、合宿第一期練習（附）コーチヤー招聘指導
▲6月16日、對同志社大學定期戰於本學プール
▲6月18日（本學記念日）學内水上競技大會、於本學プール
▲6月23日、京都學生水上競技大會、於本學プール、本學出場
▲6月30日、對蒸學及外人水球戰
▲7月10日―8月10日、本學洲本サンマーハウス開設、於本學洲本水泳場
▲7月20日―8月10日、本學職員家族水泳部練習會開設、於本學プール
▲7月24及25日、本學主催中部高校水上競技選手權大會、於本學プール
▲7月26及27日、本學主催全國高等專門學校水上競技大會、於本學プール
▲8月1及2日、帝大聯盟主催全國高校水上競技優勝並ニ選手權大會於東京芝プール、委員出張
▲8月5日、洲本水泳場水泳大會、於洲本水泳場
▲8月10及11日、滋賀縣廳主催中等學校水上競技大會、審判員トシテ部員出張
▲9月1―20日、合宿第二期練習於京都及大阪（附）コーチヤー招聘指導
▲9月14及15日、關西學生水上競技大會、本學出場、於大阪築港
▲9月23日、對東大定期戰、於東京玉川プール
▲9月23日、對慶大水球定期戰、於東京玉川プール

對關大野球戰　【第一回試合】

去る十一日午後三時より藤井寺球場に於て、球審山根、壘審沖のもとに行はれた對關西大學第一回戰は次の如きスコーアで本學惜敗
兩軍バツテリー
關大　本田―蔭山
本學　木村―才木
京　000100000=1
關　00100200A=3A

學園消息

九大

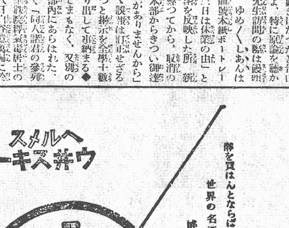
城大

松竹座の五月の潑剌たる番組！
ワルツの夢
レヴュー　救ひを求むる人々
花妖　アラウネ
オリムピア舞踊團

アサヒ屋の奉仕
從來の値段で販賣中の洋家具類此の券御持參の方に限り特にお割引致します
◇洋家具一割引券
有効期間・五月より六月末日まで
奉仕　アサヒ屋の

特別奉仕
四段組立書棚（黑塗り）二圓卅錢（その上配達も致します）
歐米家具　室内裝飾　洋室設計　圖案
松原木工所
本店　大阪市

洋服は吉田藤島洋服店
電上五三七七



讀書號

末廣博士の 支那の對外的國民運動

經濟學士 菊田太郎

國權回復、詳言すれば國家組織の不備に乘じて入込んだ外國の勢力を排除し、國民生活の保全を圖ることは、支那の國民的要求である。この國民的要求は世界大戰によつて促進され普及された民族自決弱國の安全保障、各國民の國際的平等を認める思想及び輿論の影響を受けて愈々強くなつた。而して、この要求は常に支那政府の對外政策を擁護した來たが、昨年末支那を統一した――假令一時的にもせよ――國民政府も、著々この要求の實現に努力し、或る程度まで成功してゐる。そして、現在では我が國がこの要求の最も重要な對象となつてゐる。

我が國はこの要求を如何に處理するであらうか。日支の關係は、英支、米支、露支等他の何れにも勝つて、最も重要であり最も廣汎である。この要求に關する日支交渉の進展は、兩國々民生活の根本を動かす力を持つてゐる。廟堂には既に之に對する成竹のあること、推察されるが、我々國民特に我が國民生活の前途に關心する學徒は、充分この要求の意義を明にし、この要求に基づく支那の對外國民運動を理解し、今後の進展に注意して居らねばならぬ。

所で、支那の對外國民運動が我が國民に充分理解されてゐるかと見るに、決して然りとは云ひ得ない。かゝる情勢を遺憾として著されたのが、本學法學部教授末廣博士の新著「支那の對外的國民運動」である。

本書は四節に分れてゐる。第一節「不平等條約廢棄運動はどうして支那に起つたか」では、先づ列國の支那に於る特權獲得の歷史、次にこれに對する支那國民の回復運動(普通不平等條約廢棄運動と稱せられる)の生じた事情が明かにされてゐる。第二節「不平等條約廢棄とは何であるか」は巴里講和會議及び華府會議に於ける支那の國權回復要求の說明、第三節「華府會議以後に於ける不平等條約廢棄運動」は、第二節で述べられてゐるより以後の運動の敍述である。第四節「不平等條約廢棄と日本」では、この運動の我が國に對する意義が明かにされ、且つ我が國の執るべき態度乃至方策が論ぜられてゐる。尙ほ末附錄に華府會議に際して日英米佛伊葡蘭白及び支那の九國が締結した「支那に關する九國條約」の全文がある。

本書は以上の內容を僅々四六版二〇〇頁に收めてゐる。一讀直ちに支那の對外國民運動の全般を捕捉し、これに對する對策について權威ある議論を聞き得、誠に有益である。問題の性質に鑑み、諸兄の是非御一讀あらんことを希望する次第である(弘文堂發行定價一圓二〇錢)

伊藤悌藏氏の近業 農村の娛樂及生活改善

—農村社會生活調査への一寄與—

講師 杉野忠夫

近時、農村問題が色々な立場から問題視されて來るに伴ひ、色々な解決策が叫ばれ、農村問題に關する著述、飜譯は、眞に汗牛充棟たゞならざる有樣である。

併し乍ら、本邦農村の實證的硏究は比較的閑却されて居た樣である。勿論從來とても、かゝる企てが無かつたのでは無い。曾て明治時代の中葉、前田正名氏等の提唱した村是調査が各地で行はれたが當時にあつては生產政策に重點を置ける爲に、むしろ資源調査に傾き、今日の社會問題化せる農村生活の硏究資料としては間接的である。無視し得ざる貴重な資料であることは云ふ迄もないが、それすら今日これを蒐集するは極めて困難である。

そこで新らしく農村社會生活に重きを置いた農村調査の行はれんことはすでに久しく吾々の希望する所であつたが、最近各地農會、縣當局、或は大學、硏究所、特志個人等にして此等の計畫を實施するものが現れて來たが、圖書洪水と地味な實證的資料の出版物の讀者が制限されて居る等の事情の爲に上梓さるゝもの少なきと上梓さるゝもの多くは非營利出版の爲、頒布範圍の狹少なること等の爲に一般世人の目にふれることの稀なるは遺憾千萬のことである。

◇

茲に紹介せんとする伊藤氏の「農村の娛樂及生活改善」は其の意味で、二重に、眞面目な農村研究者、農村社會事業家、爲政者、其他農村問題に關心を持つ人々に是非一讀をすゝめ度く思ふ書物である。

◇

氏は元農商務省農產課長の重職に在つて本邦農政の樞機に參し、農政の實際家として豐富な經驗を有して居る人であるが、更に大正十五年四月より昭和二年八月に至る約一箇年半、宮城縣農會の委囑を受け、同縣各地を遍歷して、農政の大綱に關する調査を行ひ、その農村研究者として精緻なる觀察法と眞摯なる態度とは、すでに定評の存する所である。

◇

本書は氏がその調査に際して得たる資料と多年氏の蒐集せる資料と經驗に立脚して執筆せるものにして、農村娛樂の概況記述とその重要なる所以を力說し娛樂事業經營の機關の組織方法及び各種の事業のアウトラインを示した部分(第一編農村の民衆娛樂)と、農村の傳統的な社會的諸生活の實狀を、調査資料を土臺として記述し、其の時代遲れの不合理なる點を指摘し、その對策を提案せる部分(第二編農村の生活改善第一部吉凶式事其他社交に關する生活改善)と、內務省衞生局の農村衞生に關する報告並に內務技師佐藤(正)醫學博士の農村結核に關する論文とを引用して農村衞生問題に關する見解を述べた部分(第二部保健衞生に關する生活改善)より成つて居る。

◇

全編を通じて、隨所に引用せられた豐富な調査資料と、著者の忠實な觀察眼を通じて表現された批判とは、凡百の農村生活改善論と日を同じくして語らるべきものにあらざることを知るに足るであらう。著者自ら云へる如く、艱難しき理想論をかゝぐることなく、實際に徹しつゝ行ひ得べき問題から徐々に展開せる點は、實際家の好參考資料として價値多からしむる點である。殊に、農村社會生活の改善指導機關の組織論の如きは、氏の如き多年農事指導の實際に關係せる人にして初めて實際的に考察し得る問題であらう。一讀をすゝむる所以である。

(東京養賢堂發行、菊版二百九十四頁、昭和四年五月十日發行、定價二圓五十錢)

大賀眞二氏「熱力學と熱機關サイクル論」

工學士 武田直秀

本書の著者大賀眞二氏は、北大に於て原動機學第一講座を擔當せらるゝ新進の篤學者にして、且過去に於て工場生活をも經驗せられた實際家にして、斯界の學理、實際の兩方面に明き新人である。

本書に說かるゝ工學的熱力學なる學術の部門は、熱工業特に熱機關に關係ある人々には最も重要にして、しかも最初にこれを習得する場合に可なり難解なる學問の一つである。この難解といふことの第一の原因は、良參考書を得ることが困難であることに歸することが出來る。實例を擧げてみるならば工業的に先進國である諸外國の此部門に關する著書の數は澤山あるしかしこれらはいづれも相當の豫備智識を必要とするものか或は現今に於ては陳腐すぎるものかであつて良參考書といへないものが多い。本邦に於ては不幸にして現今までにこの種の著書の刊行されたのを聞かない。

本書は以上の著書が有する共通の缺點を補つてゐるばかりでなく我々の母國語にて書かれてゐるといふ非常なる强味を有するのである。かくて現今まで言語によつて隔てられてゐた工學的熱力學の深遠なる殿堂は本書によつてはじめて公開せらるゝに至つたのである。

本書に用ゐられる諸單位はすべてメートル法に從つてゐる。そしてその內容を大別するときは工學的熱力學と熱機關サイクル論とになる。

前半の工學的熱力學に於ける熱力學第二法則並にエントロピーの敍述、工學的に最も複雜なる性質を有する瓦斯(即ち溫度によつて比熱の變化する瓦斯)の熱力學、オストワルト線圖による燃燒效率の說明、熱力學第二法則を基礎としたヒートバランス等は本書の特色といふべきであらう。

後半の熱機關サイクル論に於ては、現今考へ得るすべての熱機關サイクル(例へば蒸氣原動所サイクル、蒸汽機關サイクル、蒸汽タービンサイクル、外燃機關サイクル、內燃機關サイクル、內燃タービンサイクル、壓縮空氣裝置サイクル、冷凍裝置サイクル等)について各々の理論及實際を說明し、その效率增進に關する諸種の手段を論述し、サイクル相互の比較研究をなしその利害得失を明かにしてゐる。又各種の最新の熱力學諸問題(例へば蒸汽のスーパーサチュレーション、水銀蒸汽タービン、ダイフエニールオキサイド蒸汽タービン、內燃タービン等)をも捕へ來つて明確に說明してある。

以上は本書の大要をのべたに止まる。工學的熱力學及熱機關に關心を持たれる各位の一讀をおすゝめする次第である(定價七圓五〇錢岩波書店發行)

マーツアの 現代歐洲の藝術

杉村末夫

マーツアの「現代歐洲の藝術」は、かつてブハーリンが「唯物史觀」によつて、俗物の顏色をなからしめたと同樣の、まさにマルクス主義藝術界に於ける一つの「事件」を惹起した。

然し此處で云つて置かなければならないのは、著者も序論で斷つてあるやうに、プロレタリア的、革命的、或は煽動的內容を持つた新しき文學及び藝術の現象に關しては、それが必要である限りに於てのみ、これに觸れてゐること――である。だから本書にあつての著者は――コムミユニストとしての著者は、小ブルジョアイデオロギーが生產し凡ゆる新しき藝術及び文學の諸流派諸傾向を、正しいマルクス主義的方法に於いて淸算することにより、それからの文學及び藝術がもつ辯證法的意義を明白に指示したに止る。然しかくして我々も、それらの傾向の綜合を通じて、歷史的具體性へ、歐洲プロレタリアートの前衞部隊のプシコ・イデオロギーの××的確信を同樣に得るし、また得なければならない。そして又それは少數ではあるが、プロレタリア文學に運命づけられた所の今後の鬪爭段階をさへ既に暗示した。

こゝに本書のもつ本質的な、意義が存する。

事實、最近二十年間に於て――特に帝國主義戰爭後に於て、異常なテムポを以て發展を遂げたプロレタリアートの强制性の現實を避けることが出來なくて、文學及び藝術の小ブルジョア的傾向は、更に複雜なる形態をとつて具現されたにも拘らず――即ち彼等は一應は藝術と「現實」との辯證法的統一を理解し得たもの如くであつたが、結局に常に「現實」及び現實的解決から逃避した。あの美しい藝術の險嚼の裡に閉ぢ籠つてしまつた。然し著者はかゝる文學及び藝術の諸傾向が、「時代の力學的性質に適應した藝術的表現の方法と形式とを導き出した」ことを、餘りにも判然と認識してゐた。

かくして本書が展開し、到達しなければならぬ新しい文學及び藝術への淸算が必要とされる。

「現存する藝術の一つの種類も取り殘されてゐない――詩と音樂、彫刻と演劇とが完全に照し出されてゐる」現代小ブルジョア的流派傾向をと驚くべき廣汎なる課題ではあるが、まことに正確に、論理的に、餘す所なく貫かれ、共產主義社會の建設者であるプロレタリアートの、それらに對する態度を大膽に、得心の行くように說明し得て、本書は他のマルクス主義的藝術の出版物中、より多くの價値を體現してゐることを、自分は信じて疑はぬ。(叢文閣一圓)

アメリカ・ア・ラメリク

—室伏高信氏のアメリカ—

北洋

アメリカを知れ!著者は先づから叫んでゐる。そしてあの百%チヤーナリズムの文章でアメリカを知らざるべからざる所以を說く、そしてふんだんな表で如何にアメリカが偉大であるかを示す、人口がどうだ、電話がどうだ、フーバーがどうした、フオードが何と云つたと矢繼早に、ジヤヅのやうにすばしこいテムポで、現代の霸王アメリカを語る―その書き方そのものが斷にアメリカ式である、まことにそれはア・ラ・ユーロペーヌではなくて、ア・ラメリクであるのだ、だから、著者は唯にその內容に於てではなく、形式に於ても最もよくアメリカを語つてゐる、たゞに悟性を通じてのみではなく感性を通じても如實にアメリカを語つてゐる

アメリカの經濟だけなら、もつとヴイツセンシヤフトリツヒに――然りそれだけア・ラ・ユーロペーヌに語り得る人があらう、又語つてゐる書物があらう、アメリカの文學ならもつと翫賞的に語る人があらう、コンパニエント・マリツチのことなら谷讓次の方がもつとセンセイシヨナルに書くだらう、だが、それは單なるアメリカの經濟論であり、文學論であり、裏面描寫だけだ、巨人アメリカをそのすべてを包含した姿で描いた點でこの書の存在の意義がある

だから、この書は學者の讀むべき本ではない、どんなに澤山の數字があげられてゐようと、どんなに手際よく歷史が描き出されてゐようと、そこにはアカデミツシユなメトドロギーはなく、やかましいイデオロギーもない

アメリカ的イデオロギーは?――著者は云ふ、金、金、金!

アメリカ的文明は?――著者は云ふ機械文明、大衆の文明!

何と簡單なことよ!

しかし、だからと云つて輕蔑してはいけない、あのシムプルなアメリカ映畫が全世界を風靡し、あの調子外れのジヤヅが世界の隅々までも響き渡つてゐることの理解の鍵は矢張此處にあるんだから。

「マルクスも豫想することのできなかつた經濟上の大なる革命が、靜かにではあるが急速に、無宣傳ではあるが確實に、アメリカに於いて實現されつゝある」

反動よばはりは待つて與れ、今や世界には、ロシアのコムミユニズムとともにアメリカのキャピタリズムが彷徨してゐる――と著者は云ふ、アメリカの繁榮の中に、コムミユニズムへの必然性を見出すのは著者の課題ではない、ユニークな文明としてのアメリカ、世界の霸王としてのアメリカ――その現象形態を描き出すのが著者の任務なのだ(東京本鄉駒込上富士前町一〇九先進社發行 定價一圓六十錢)

映畫と演劇評 キング・オブ・キングスを見る

里島耕一

デミルに作られた基督映畫は恐らくキング・オブ・キングスを最高とすることが出來よう。福音書の斷片的な挿話を巧妙に健實に映畫化し十二卷の長尺を破綻なくまとめてゐる點にデミルの宗教映畫家としての權威がある。我々は此の映畫に於て新しい映畫技術の銳角的感覺的表現を見出すことは出來ないが、その代りに平面的な繪畫的表現の取入れられてゐるのを見る。即ち此の映畫が宗教畫家の表現を如何に完全に取入れてゐるかを知る。そして彼は映畫の立體感を效果的に見棄てることに成功しかへつて宗教的莊嚴さを描寫することが出來た。又キリストになつたワーナーはこの困難な演出をあざやかに遂行してゐる。かくて此の映畫は「十戒」や「さまよへる猶太人」になし得なかつた完成を、更にキリスト傳の最も完全な映畫化をなし得たと言ひ得られるのであらう。しかし我々はその最も完全な映畫化なることを考へねばならない。私は映寫中處々時々に拍手の起るのを聞いた。彼等はこの映畫の宗教的感激より拍手を送つたのであらうか。我々は紀元一世紀の感激を二十世紀に再生產する必要があらうか。斷じて否!である。二十世紀のキリストはアメリカの資本家により商品として今や再生產される。かくて資本家は是を我々に「靈的優待席」のレッテルをはりつけて賣付け、然も我々自身の價値を信ぜしめないやうにする。しかしキネマ通をする「助はれさる人々」の送る拍手はキリストも亦映畫的英雄に過ぎないことを意味してゐる。しかし若し巧みに映畫化された福音書なるが故に宗教家等に利用せられるなら!彼等によき武器たることを失はない我々はかゝる危險に對し民衆に警告すべきだ――シイザーのものはシイザーに返せとキリストは敎へた。しかしいま二十世紀の聖典は失ふべきたゞ鐵鎖のみ有する者に奪はれた一切のものを汝自身の肉體で奪ひ返せと叫ぶ。

朝から「夜中まで」

▼…分裂後の最初の地方公演として築地小劇場(即ち所謂舊劇團組)は、ゲオルグ・カイザーの「朝から夜中まで」を以て、われ等に見えた、カイザーはこの劇の中で、機械のやうに働いてゐるプチ・ブルの出納係を通じて、現代社會の一面を諷刺してゐる、映畫のやうな筋だ、レヴユウのやうな效果をもつてゐる、だからだらうか、此劇は、科白のあるフキルム、科白のあるレヴユウだつた、是がそんな風に演出さるべきか否かは問題外として、築地の北村、靑山の兩氏共同演出はそれだつた、そこにこの演出の缺點と長所がある、こんどの公演では、村山知義の例の構成派的舞臺裝置(東京でやつたやうな)ではなく、その一つ一つをとり出したものだつたから(舞臺の關係の爲だらうか)一層レビユー化の感を深くしたのかも知れない

▼……此劇は云はゞ主人公出納係りのモノローグだ、他の人物はすべて主人公に附隨的のものであり、北村氏も云つてゐる如く「云はゞ、彼以外の人物は主人公の白我の反映とも言ふべきである」それだけに主人公の役割は他の芝居のそれ以上に重大だ、主人公に扮した汐見は、その役柄を理解して努力してゐたが、大體、彼のはまり役でないのと、練習不足のせいか、時々科白にまごついたりしたのは、寧ろ氣の毒だつた、矢張り丸山を始め、薄田や友田のゐないのが淋しい、しかし、それは仕方がないことだ何と云つても汐見はそれだけ役柄の選擇を度外しても、新築地小劇場のピカ一であり、その大役をひき受けねばならぬ彼の苦衷は察するに餘りある

▼…東山のよさは光つてゐた殊に、婦人としてよりも、救世軍の女士官としての方がよかつたのではないかと思ふ、このひとのやうに柄と色氣と敎養のある女優は恐らく他に求め難いであらう

▼……場から云へば、最後の救世軍の會堂の場が一番觀衆にアピールする所があつた、又そうあるべきだと思ふ、私は、始め最後の場は見まいと思つてゐた、何故ならブチ・ブルの斷末魔が餘りにも身につまされて胸をうつのではないかと懸念した爲だ、しかし、實際をみて私は、その懸念をそれ程强く感じなかつた、それだけ又物たりなくもあつた

▼…最後に築地は何處への問題だが、勿論この一公演だけで、斷定を下すのは早計だ、時の問題だが、宣言書の如く「パンと水」との元氣があるなら、もつと熱が欲しい、火の如き熱が欲しい、演劇の實驗室ならそれらしく、大衆に訴へるなら、もつとそれらしく、レビユー化すこと―それも必要かも知れぬ、が、それに陷してはいけない、新劇の道は多難の道だ、現代の社會狀勢に於ては何も、かもが多難なのだ、私は築地が果す役割を希望の眼で眺めやう(洋)

劇場通信

◇…新築地劇團第一回地方公演は、來る十五、十六、十七の三日間大阪朝日會館で、鐵兵の「生ける人形」と洋文の「飛ぶ唄」を出すが十九、二十兩日は京都公演、烏丸通り日出會館で上演する、出しものは「生ける人形」「飛ぶ唄」

◇…來る十八日(土)六時から烏丸通日出會館で、帝大三高ドラマリーグと映畫隨筆の後援で、文藝映畫「春の目覺め」を上映する。會員券二圓、一圓、六十錢

新刊紹介

支那革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニー(アチアチクス著 別府市夫譯)支那問題叢書第三編である。これでアチアチクスの「廣東から上海へ」の序文及び本文は全譯されたわけである。帝國主義的干涉の危險とブルジョアジーの裏切りとに對する鬪爭に於て、小ブルジョア指導の反逆と武漢政府の瓦解とに分れ外に六の資料を添へてある(東京神田錦町上野書店、八拾錢)

◇MUSE(五月號)京大文學部關係者の手で發行されて居る英文學研究の雜誌で、本號內容は左の如し。中西信太郎(エイブリス・チヤアム)故深田康算(形の問題)新村出(夢餘錄)濱田靑陵(ルネツサンス)木方庸助(スケルトンス・マグニフイシインス)新里文八郎(オード・トウ・ア・ナイチンゲール)伊津野直(ロバート・バアンズ、マイ・ボニー・ラツシイ)岡田幸一(短詩二題)府川哲雄(ザ・デフインス・オブ・ポエジエ)森田譲二(演劇考)新里文八郎(ポエムス)山田勝太郎(フラワアス・オブ・ザ・マンス)野淵昶(ザ・シヤドウ・オブ・ア・ガンマン)最近海外文壇等。(定價四十錢。百萬遍山內、アポロン社發行)

◇武敎(五月號)休刊中の武敎が四箇月ぶりに更生第一號を出した。青柳博士の唯此一途に在り、笹川博士の劍氣と武道家等々の外小說佐々木ガン流は其の道の人が書いただけに特殊の持ち味があつて面白い(一部卅錢京都市吉田近衞町十一日本武敎社發行)

洋服は

京都市內優良藥種商

藥品全般 處方調劑 化粧品各種 洋酒、罐詰類
東山藥局 電話上三一四〇番

安價ニシテ效能本位ノ家庭賣藥調合
京都市出町今出川上ル
出町藥局 電話上一五九四番

洋服は寺町夷川の 林洋服店

洋品と雜貨 M
15日ヨリノ 夏肌着陳列 特賣會に是非!
學生諸兄の店 牧野洋品店 熊野神社前 電上1053

洋服は 洋服店

菓子界の覇王
森永の直營 森永キャンデーストアー 熊野電停前 電話上四九八三
森永の―― 菓子と喫茶 階上喫茶部
クラス會、高等學校同窓會等各種御會合に御利用下さい能ふ限り御便利に御相談に應じます

鳩 大学ノート
帝大共濟部御指定
毎日、法經學部控室二階に出張してゐます。何しろ、鳩居堂が大學へのサーヴイスとて一度買つたら、よその品はとてもバカらしくて買へぬとの評判です。
寺町 鳩居堂

洋服は吉田大路 大見洋服店

科學器械

映畫 死の北極探險 八卷
北極の神祕と永遠の謎始めて諸氏の眼前に展開す!
◆五月十四日より二十日まで◆
●此の推賞!此の感激!
キネマ倶樂部

歐米書籍直輸入
日本歷史 アダームス著 輸入 1874 二冊
日本西教史 クラツセー著 輸入 伊太利文 1722 四冊
羅典文 聖フランシスザビエー 博 1596 壹冊
大君ノ都 オルコツク著 輸入 18 3 貳冊
華英辭典 ジアイルス著 二版 1912 壹冊
日本昔噺 ミツトソオード著 輸入 初版 1871 貳冊
支那及ダツタン旅行記(佛文) マカートニ卿著 1791—1798 四冊
獨文日本旅行記 ライン著 輸入 第壹卷 1905 壹冊
グラマーオフ オーナメント ジョンス著 挿畫多數 1910 壹冊
印度寶玉集 ヘンドレー著 挿繪多數 1906—1909 壹冊
東印度史 マルチン著 輸入 18 8 參冊
京都市神宮道三條上ル 錦光山商店 書籍部

齒科 小山齒科醫院
百萬遍停留所西一丁北入
東京齒科醫專出 小山正光

各國の原書類 明治初年の新聞雜誌 昔の古本類 高價買入
値段の點で返品の場合に御照會下さい
京都寺町二條東入 杉田大學堂

佛國郵船

京大へ御用の方は 池田屋旅館へ お泊り下さい

弓でも矢でも强がる波!
實は赤玉 內助の效
赤玉ポートワイン
(卓上瓶は五十五錢)